



有限会社昌栄水産様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2026年4月1日（水）、八栗支店取引先 有限会社昌栄水産（香川県高松市 代表取締役 藪 俊作）に対し『114 サステナブルベーシックローン^{（※1）}』を実施しましたのでお知らせします。

今回、有限会社昌栄水産は、『海苔生産における電力使用量削減』を SPTs^{（※2）} に決めました。当行はお客さまの企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利の優遇を行うことで、目標達成に向けた動機付けを促し、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会社名 有限会社昌栄水産
所在地 香川県高松市庵治町 1005 番地
業種 水産養殖業

【サステナブルな取組み】

当社は、先代より2代にわたって庵治の海とともに歩んでまいりました。「海苔」は日本人にとって伝統食材の一つであり、皆さまの食卓を豊かにすることは、当社の使命であり喜びでもあります。これからも豊かな庵治の海の幸をお届けいたします。

今回、『海苔生産における電力使用量削減』を SPTs に設定することで、環境負荷の低減及び環境配慮型事業の創出に挑戦してまいります。



2. SPTs について

海苔生産における電力使用量削減

以上